

CASE 2

Marvel (驚嘆・不思議) な技術と情熱を 世の中に発信

株式会社マーベルコーポレーション

「株式会社マーベルコーポレーション」代表取締役の小澤聖輔おざわせいすけさんに、同社が商品化した環境に配慮した製品についてお話を伺いました。



代表取締役社長 小澤聖輔氏

MARVEL WOOD



施工例「ふくい健康の森の木橋」(左)「京都北野天満宮デッキ」(右)

株式会社
マーベルコーポレーション
<https://fukuiweb.jp/marvel/>

所在地:福井市原目町4-30
代表者:小澤 聖輔氏
事業内容:環境配慮型保存処理木製品の製造・加工・販売
TEL 0776-53-7715

Marvel な会社の登場

もともと三谷商事株式会社の物資部に勤務していた小澤さんは当時、木材の防腐剤が環境を汚していた現状に注目。そこで1998(平成10)年に、社内ベンチャー制度を活用して、環境に配慮し且つ従来の薬剤よりも優れたものを開発する事業「マーベルウッド木材改良事業」を立ち上げました。徐々に事業が軌道に乗り始め、本事業に専念することを決意した小澤さんは2011(平成23)年に独立し、環境配慮型の木材製品の技術開発、製造販売を手掛ける「株式会社マーベルコーポレーション」を設立しました。

Marvel な木材

従来の木材防腐剤を使った木材製品は銅由来成分が使われているので緑銅色をしており、水に溶ける性質があるので効果が長続きせず、雨に溶けだして土壌汚染・水質汚染につながっていました。

同社が取り扱う薬剤を使つた木材「マーベルウッド®」は天然成分由来のものが使わ

れ且つ木材本来の色で、水に溶けださない性質なので持続性が高く、環境への影響も少ない優れたモノです。

その「環境性」「耐久性」「美観性」を兼ね備えた同製品は、展示会に出展すると高い評価を得て、かなりの引き合いがあったそうです。福井県内ではJR福井駅前のイスやベンチ、ふくい健康の森「木橋」などに、県外では京都北野天満宮のデッキなどに使われています。「本製品導入先の拡大や展示会により信頼は間違いなく獲得できています。ただ、製造工場が福井県にしかないので遠方での引き合いがあっても応えられていないのが現状ですね」と小澤さんは複雑な表情を見せます。現在、県外に工場を新設する計画が

海外でも好感触

進行中です。

2019年4月に「中小企業等外国出願支援事業」を活用するなどして同製品の特許を取得し、同時期に「農商工連携事業(※注1)」に認定され、去年の9月に「AQ一種(※注2)」を取得することでブランドの信頼を積み重ね、2019年12月に台湾での展示会出展を果たしました。「台湾は距離的に近く、木材を輸入に頼っている国です。県や国からも認めてもらったマーベルウッドは台湾の方にも高い評価を得られました」と小澤さんは満足そうな表情を見せます。

コロナ禍で台湾での販路開拓の動きは鈍くなりましたが、展示会をきっかけに、台湾企業との商談が今年11月に行われるそうです。福井県産の木材がジャパンブランドとして台湾に輸出される日が待ち遠しいです。

(注1) 認定されると経済産業省と農林水産省からの支援が受けられる。

(注2) (財)日本住宅・木材技術センターが認定する、優良製品の証

